

## 家畜ふん堆肥マッチング推進事業費補助金交付要綱

制定：令和4年9月1日付け滋畜第760号

最終改正：令和5年5月30日付け滋畜第397号

### (趣旨)

第1条 知事は、完熟堆肥およびペレット堆肥の安定供給に向けた取組を推進することにより、耕畜連携による堆肥の利用拡大を図るため、畜産農家が事業実施年度に完熟堆肥およびペレット堆肥の供給を拡大した場合に、事業実施主体が支払う経費に対して、予算の範囲内において補助金を交付するものとし、その交付に関しては、「滋賀県補助金等交付規則」（昭和48年滋賀県規則第9号。以下「規則」という。）に規定するもののほか、この要綱に定めるところによる。

### (補助対象および補助額)

第2条 補助の対象となる経費および補助額は、別表に定めるところによる。

### (事業実施計画の申請)

第3条 補助金の交付を受けようとする者（事業実施主体）の代表者は、事業を実施するに当たって事業計画承認申請書（別記様式第1号）を提出し、知事の承認を得るものとする。

2 事業計画承認申請書の提出部数、提出期日および添付書類は、次のとおりとする。

(1) 提出部数：1部

(2) 提出期日：別に定める日

(3) 添付書類：事業計画書および収支予算書（別記様式第2号）

事業計画一覧（別記様式第3号-1）

家畜ふん堆肥供給計画一覧（別記様式第3号-2）

家畜ふん堆肥供給計画確認書（別記様式第3号-3）

申請団体の規約（法人以外の組織の場合）

3 事業実施計画を変更する場合は、前2項の規定を準用する。

### (交付申請)

第4条 規則第3条に規定する補助金交付申請書（別記様式第4号-1）の提出部数、提出期日および添付書類は、次のとおりとする。

(1) 提出部数：1部

(2) 提出期日：別に定める日

(3) 添付書類：事業計画書および収支予算書（別記様式第2号）

事業計画一覧（別記様式第3号-1）

家畜ふん堆肥供給計画一覧（別記様式第3号-2）

家畜ふん堆肥供給計画確認書（別記様式第3号-3）

飼料自給率向上・生産コスト削減取組計画（別記様式第4号-2）

役員名簿（別記様式第5号、法人の場合）

誓約書（別記様式第6号）

(事業変更の承認申請)

第5条 事業実施主体は、規則第4条の規定による補助金の交付決定を受けた後に、規則第3条の規定により提出した書類の記載事項について、次に掲げる変更を加えようとするときは、あらかじめ事業計画変更承認申請書(別記様式第7号)1部を提出し、知事の承認を受けなければならない。

- (1) 事業の中止または廃止
- (2) 補助金の交付決定額の増加を伴う事業費の増
- (3) 交付決定額の30%を超える事業費の減

2 知事は、前項の変更承認をする場合、必要があると認める時は、当該申請書に係る事項について、変更を指示することができる。

(概算払請求)

第6条 事業実施主体は、規則第15条に規定する概算払を請求する場合は、概算払請求書(別記様式第8号)によるものとする。

(実績報告)

第7条 規則第12条に規定する事業実績報告書(別記様式第9号)の提出部数、提出期日および添付書類は、次のとおりとする。

- (1) 提出部数：1部
- (2) 提出期日：事業完了後30日以内または事業実施年度の翌年度の4月10日のいずれか早い日
- (3) 添付書類：事業実績書および収支精算書(別記様式第2号)  
事業実績一覧(別記様式第3号-1)  
家畜ふん堆肥供給実績一覧(別記様式第3号-2)  
家畜ふん堆肥供給実績確認書(別記様式第3号-3)

(電子情報処理組織による申請等)

第8条 事業実施主体は、第3条の規定に基づく事業実施計画の申請、第4条の規定に基づく交付申請、第5条の規定に基づく事業変更の承認申請、第6条の規定に基づく概算払請求、第7条の規定に基づく実績報告については、滋賀県インターネット利用による行政手続等に関する条例(平成16年滋賀県条例第30号)第3条第1項に規定する電子情報処理組織を使用して行うことができる。

(標準事務処理期間)

第9条 標準事務処理期間は、次のとおりとする。

- (1) 規則第4条の規定による補助金の交付の決定 規則第4条の規定による申請があった日から起算して30日以内
- (2) 補助金の変更交付決定 申請書を受理した日から起算して14日以内
- (3) 規則第13条の規定による補助金の額の確定 第7条の規定による実績報告があった日から起算して30日以内

(帳簿等の整備保管)

第10条 事業実施主体は、この事業に係る経理については他と明確に区分して経理するとともに、その内容を明らかにした帳簿および関係書類を整備し、事業終了後5年間保管するものとする。

(その他)

第11条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は知事が別に定める。

付 則

この要綱は、令和4年9月1日から施行し、令和4年度の補助金に適用する。

付 則

この要綱は、令和5年5月30日から施行し、令和5年度の補助金に適用する。

別表

事業の目的 および内容	完熟堆肥およびペレット堆肥の安定供給に向けた取組を推進することにより、耕畜連携による堆肥の利用拡大を図る。そのため、事業実施年度に完熟堆肥またはペレット堆肥の供給を拡大した場合、その経費の一部を補助する
事業実施主体	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 畜産業を営む個人が構成員となっている団体であって、組織の規約および代表の定めがあり、年1回以上の決算報告がされ、代表者名義の通帳をもつこと</li> <li>2 農業経営基盤強化促進法(昭和55年法律65号)第12条第1項の認定を受けた認定農業者</li> <li>3 農業協同組合および農業協同組合連合会</li> </ol>
補助単価	1 前年度より供給量を拡大した完熟堆肥およびペレット堆肥に対し、1トン当たり2,000円以内を補助
上限事業費	1 1畜産農家当たりの上限事業費を80,000円とする
事業要件等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 計画申請時点において、肥料の品質の確保等に関する法律(昭和25年法律127号)に基づき、特殊肥料として家畜ふん堆肥の届出を行っていること</li> <li>2 耕畜連携による供給量の拡大であること(畜産農家自らが所有または栽培するほ場は対象外とする)</li> <li>3 対象作物は稲、麦、大豆、野菜、花き、果樹、茶とする</li> <li>4 10a当たりの供給量は環境こだわり農産物栽培基準の「堆肥その他の有機質資材の適正使用」に定めるきゅう肥またはおがくず堆肥またはもみがら堆肥の施用基準を上限とする(別紙「施用基準」参照)</li> <li>5 飼料自給率の向上および生産コスト削減の取組を実施すること</li> </ol>
備考	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 面積は、水田の場合は水張面積とする。また、ほ場の一部や水田以外で作付けする場合は実作付面積(通常管理道路、棚等を含む)とする</li> <li>2 申請額が予算額を上回る場合、補助金額を予算内で調整する</li> </ol>

作物名	牛			豚			鶏
	きゅう肥	おがくず堆肥	もみがら堆肥	きゅう肥	おがくず堆肥	もみがら堆肥	おがくず堆肥
稲	2.0	2.0	2.0	0.8	1.0	1.0	0.8
麦	3.0	2.0	2.0	1.0	2.0	2.0	1.0
大豆	3.0	2.0	2.0	1.0	2.0	2.0	1.0
野菜	5.0	5.0	5.0	2.0	3.0	3.0	2.0
花き	5.0	5.0	5.0	2.0	3.0	3.0	2.0
果樹	4.0	4.0	4.0	0.5	3.0	3.0	1.0
茶	5.0	5.0	5.0	1.0	1.0	1.0	1.0

環境こだわり農産物栽培基準「堆肥その他の有機質資材の適正使用」より作成

(参考) きゅう肥：家畜ふん単独または家畜ふんにわら類などの敷料が混合したものを堆積し発酵させたもの

おがくず堆肥、もみがら堆肥：家畜ふんとおがくずやもみがらを混合して堆積し発酵させたもの

別記様式第1号（第3条関係）

家畜ふん堆肥マッチング推進事業計画承認申請書

番 号  
年（ 年） 月 日

滋賀県知事 様

（事業実施主体）

住所

名称

代表者氏名

（発行責任者・担当者）

氏名

（電話番号）

令和 年度において家畜ふん堆肥マッチング推進事業を実施したいので、家畜ふん堆肥マッチング推進事業費補助金交付要綱第3条の規定により関係書類を添えて申請します。

家畜ふん堆肥マッチング推進事業  
計画書（事業実績書）および収支予算書（収支精算書）

1 事業の目的

完熟堆肥およびペレット堆肥の安定供給に向けた取組を推進することにより、耕畜連携による堆肥の利用拡大を図る（図った）。

2 事業の効果

取扱性に優れた完熟堆肥やペレット堆肥の生産を拡大することで、耕畜連携による堆肥の供給拡大を図る。さらに、堆肥施用による地力の向上や化学肥料の減量効果が期待でき、環境こだわり農業の推進に貢献できる（できた）。

3 事業計画（事業実績）

別紙のとおり

4 事業の着手および完了（予定）年月日

着手年月日： 年 月 日

完了（予定）年月日： 年 月 日

5. 収支予算書（収支精算書）

(1) 収入の部

[単位：円]

区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比 較		備 考
			増	減	
県費補助金					
事業実施主体					
計					

(2) 支出の部

[単位：円]

区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比 較		備 考
			増	減	
家畜ふん堆肥マッチング推進事業					
計					

事業計画(実績)一覧

事業実施主体名: \_\_\_\_\_

畜産農家名	肥料の名称 <small>注1</small>	前年度実績 【R 年度】	今年度計画(実績) 【R 年度】	拡大供給量 (t)  ③=②-①	補助単価 (円/t)  ④	事業費  ⑤=③×④	補助対象事業費 (上限事業費 =80,000円)  <small>注2</small>
		供給量 (t)  ①	事業対象 供給量(t)  ②				
					2,000		
					2,000		
					2,000		
					2,000		
					2,000		
					2,000		
					2,000		
					2,000		
					2,000		
					2,000		
					2,000		
					2,000		
					2,000		
					2,000		
合計					2,000		

<適宜、行を追加する>

注1>肥料の品質の確保等に関する法律に基づき、特殊肥料として届け出ている肥料の名称

注2>⑤の事業費または80,000円の小さい方の金額を記入





	小計									
	小計									
	小計									
合計										

<適宜、行を追加する>

注1>②および③から10a当たり供給量(散布量)を算出、小数点第1位まで記入(小数点第2位以下は切り捨てる)

注2>別紙「施用基準」から対象作物における施肥基準を記入

注3>④または⑤の小さい方と②の散布面積を掛け、事業対象供給量をt(トン)単位で算出、小数点第1位まで記入(小数点第2位以下は切り捨てる)

別記様式第3号-3(第3条、第4条および第7条関係)

### 家畜ふん堆肥 供給計画(実績)確認書

完熟堆肥またはペレット 堆肥を供給した畜産農 家名 注1	畜種 注2	堆肥の種類 注3	堆肥の形状 注4	対象作物名 注5	前年度実績【R 年度】 注6		今年度計画(実績)【R 年度】 注9	
					供給面積(a) 注7	供給量(t) 注8	供給面積(a) 注7	供給量(t) 注8
計								

上記のとおり畜産農家から家畜ふん堆肥の供給を受ける(受けた)ことを証明します。

(届出者)

住所

名称

代表者氏名

(発行責任者・担当者)

氏名

(電話番号)

<注1~9は裏面参照>

注1>確認書は畜産農家ごと、耕種農家ごとに作成

注2>畜種は①牛、②豚、③鶏のいずれかを記入

注3>堆肥の種類は①きゅう肥、②おがくず堆肥、③もみがら堆肥のいずれかを記入

注4>堆肥の形状は①完熟堆肥、②ペレット堆肥のいずれかを記入

注5>対象作物は堆肥供給(散布)後に作付けする作物とし、①稲、②麦、③大豆、④野菜、⑤花き、⑥果樹、⑥茶のいずれかを記入

注6>前年度実績は完熟堆肥またはペレット堆肥の前年度における供給(散布)面積、供給量の実績を記入

注7>供給面積は堆肥の形状、対象作物ごとに合計し、a単位で記入(小数点以下は切り捨てる)

注8>供給量は堆肥の形状、対象作物ごとに合計し、t(トン)単位で小数点第1位まで記入(小数点第2位以下は切り捨てる)

注9>今年度計画(実績)は完熟堆肥またはペレット堆肥の今年度における供給(散布)面積、供給量を記入

家畜ふん堆肥マッチング推進事業費補助金交付申請書

番 号  
年 ( 年) 月 日

滋賀県知事 様

(事業実施主体)

住所

名称

代表者氏名

(発行責任者・担当者)

氏名

(電話番号)

電話

年度家畜ふん堆肥マッチング推進事業について、 円を交付されるよう、家畜ふん堆肥マッチング推進事業費補助金交付要綱第4条の規定により、関係書類を添えて申請します。

なお、この申請に当たり滋賀県補助金等交付規則第4条第2項各号のいずれかに該当する事実が判明したときは、同規則第16条の規定に基づき補助金等の交付の決定の全部または一部を取り消されても、何ら異議の申立てを行いません。

(注) 変更交付申請の場合は、変更理由や内容が容易に対照できるよう2段書きで記載し、変更前の金額を括弧書きで記載すること

飼料自給率向上・生産コスト削減取組計画

①飼料自給率の向上に資する取組

- 飼料分析に基づく飼料設計の改善
- 国産濃厚・粗飼料の給与割合の増加
- 国産濃厚・粗飼料の生産・流通拡大
- 国産高栄養素粗飼料の利用による配合飼料の削減
- 稲わら・麦わらの収集面積の拡大
- 排水対策の徹底や新品種の導入等による国産濃厚・粗飼料の単収向上
- 適期作や耕種的防除の徹底による農薬費の削減
- 鳥獣害対策の徹底による国産濃厚・粗飼料の保管時ロスの削減

②生産コストの低減（生産性の向上）に資する取組

- 疾病・事故率などの低減
- 暑熱・寒冷対策による生産性の向上
- 副産物収入の増加による生産コストの削減
- 牛群検定を活用した生産性の向上
- 分娩間隔の短縮
- エサ寄せロボットの活用
- 自動給餌機の活用
- 搾乳ロボットの活用
- 分割給餌
- リキッドフィーディングの活用
- 飼料タンクや給餌ラインからの飼料のこぼれがないかの確認による飼料の無駄の削減
- 残飼の確認や盗食の防止等による給与飼料の無駄の削減
- 畜舎や事務所の不用な照明の消灯等による電気代の削減
- 農機具や車両のアイドリングストップ等による燃料代の削減
- 作業動線の見直し等による労働時間の削減

(注) 上記①②をあわせて、5メニュー以上にチェック☑する

上記内容について、取り組むことを確約します。

(畜産農家) 住所 \_\_\_\_\_

法人・個人名 \_\_\_\_\_

代表者氏名 \_\_\_\_\_

(発行責任者・担当者) 氏名 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

役員名簿

法人名： \_\_\_\_\_

※該当する年号を○で囲んでください。

役職名	(ふりがな) 氏名	住 所	生年月日
			明・大・昭・平 年 月 日
			明・大・昭・平 年 月 日
			明・大・昭・平 年 月 日
			明・大・昭・平 年 月 日
			明・大・昭・平 年 月 日
			明・大・昭・平 年 月 日
			明・大・昭・平 年 月 日
			明・大・昭・平 年 月 日
			明・大・昭・平 年 月 日
			明・大・昭・平 年 月 日
			明・大・昭・平 年 月 日
			明・大・昭・平 年 月 日
			明・大・昭・平 年 月 日
			明・大・昭・平 年 月 日

※ 本様式には、法人登記簿謄本(現在事項全部証明書)に記載されている役員全員(現在就いている方)および役員以外の方で支店または営業所を代表する方全てについて記載してください。

※ 収集した個人情報については、事業についてのみ使用し、その他の目的のためには使用しません。ただし、本県が必要と認める場合は、本役員名簿を警察当局へ照会します。

誓約書

私は、下記の事項について誓約します。

なお、県が必要な場合には、滋賀県警察本部に照会することについて承諾します。

記

- 1 自己または自社もしくは自社の役員等が、次の各号のいずれにも該当する者ではありません。
  - (1) 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「法」という。）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）
  - (2) 暴力団員（法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）
  - (3) 自己、自社もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を与える目的をもって、暴力団または暴力団員を利用している者
  - (4) 暴力団または暴力団員に対して資金等を供給し、または便宜を供与するなど、直接的もしくは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、または関与している者
  - (5) 暴力団または暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者
  - (6) 上記(1)から(5)までのいずれかに該当する者であることを知りながら、これを不当に利用するなどしている者
  
- 2 1の(2)から(6)に掲げる者が、その経営に実質的に関与している法人その他の団体または個人ではありません。

令和 年 月 日

滋賀県知事

[法人、団体にあつては事務所所在地]

住 所 \_\_\_\_\_

[法人、団体にあつては法人・団体名、代表者名]

(ふりがな)

氏 名 \_\_\_\_\_

[代表者の生年月日]

生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

発行責任者 氏名 \_\_\_\_\_

担当者 氏名 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

(注) 発行責任者と担当者が同じ場合は、担当者欄の記入は不要



家畜ふん堆肥マッチング推進事業計画変更承認申請書

番 号  
年（ 年） 月 日

滋賀県知事 様

（事業実施主体）

住所

名称

代表者氏名

（発行責任者・担当者）

氏名

（電話番号）

年 月 日付け 第 号で交付決定があった、家畜ふん堆肥マッチング推進事業の実施について、下記の理由により事業の内容および経費の配分を変更したいので承認されたく、家畜ふん堆肥マッチング推進事業費補助金交付要綱第5条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

1. 変更理由
2. 変更内容 別記様式第3号-1～3のとおり
3. 完了予定年月日 年 月 日

4. 収支予算書

(1) 収入の部

[単位：円]

区 分	本年度予算額	前年度予算額	比 較		備 考
			増	減	
県費補助金					
事業実施主体					
計					

(2) 支出の部

[単位：円]

区 分	本年度予算額	前年度予算額	比 較		備 考
			増	減	
家畜ふん堆肥マッチング推進事業					
計					

(注) 変更前と変更後の金額を2段書きで記載し、変更前の金額を括弧書きで記載

家畜ふん堆肥マッチング推進事業費補助金概算払請求書

番 号  
年（ 年） 月 日

滋賀県知事 様

（事業実施主体）

住所

名称

代表者氏名

（発行責任者・担当者）

氏名

（電話番号）

年 月 日付け 第 号で交付決定の通知のあった家畜ふん堆肥マッチング推進事業について、家畜ふん堆肥マッチング推進事業費補助金交付要綱第6条の規定により、下記のとおり金円を概算払により交付されるよう請求します。

記

交付決定額 ①	既受領額②	今回請求額③		残額 ①-(②+③)		事業完了予定 年月日
	金額	金額	〇月〇日まで予定出来高	金額	〇月〇日まで予定出来高	
円	円	円	%	円	%	

別記様式第9号（第7条関係）

家畜ふん堆肥マッチング推進事業実績報告書

番 号  
年（ 年） 月 日

滋賀県知事 様

（事業実施主体）

住所

名称

代表者氏名

（発行責任者・担当者）

氏名

（電話番号）

年 月 日付け 第 号で交付決定の通知のあった家畜ふん堆肥マッチング推進事業について、事業が完了したので、家畜ふん堆肥マッチング推進事業費補助金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて実績を報告します。